

# 2025 年文藻外語大学日本語学科国際シンポジウム —日本研究の独自性と学際性—

【若有任何調整，以研討會當日發布為準】

日時：2025 年 10 月 25 日（土曜日 8:30-16:20）

主催：文藻外語大学日本語学科

助成：公益財団法人日本台湾交流協会

会場：文藻外語大学至善楼 15 階国璽会議庁、13 階論文発表会場、16 階会場

時間	プログラム		
8:30-8:50	受付（至善楼 13 階）		
8:50-9:10	【開会式】（国璽会議庁）		
【基調講演】（国璽会議庁）			
9:10-10:00	講演者：佐倉統（実践女子大学人間社会学部教授/東京大学大学院情報学環特任教授） テーマ：文化的アイデンティティとしての科学技術—健全な多元主義をめざして— 司会：林淑丹（文藻外語大学日本語学科教授兼副学長）		
10:00-10:50	講演者：菊地暁（京都大学人文科学研究所助教） テーマ：身体技法入門—私は、昔、皿洗いだった— 司会：董莊敬（文藻外語大学日本語学科教授）		
10:50-11:10	休憩時間		
【論文発表】発表 20 分、討論 5 分、交代時間 5 分			
11:10-12:10	会場 A	会場 B	会場 C
	司会：頼美麗（文藻外語大学日本語学科副教授）	司会：李嫻蓉（文藻外語大学日本語学科副教授）	司会：倉本知明（文藻外語大学日本語学科副教授）
	【日本語学・教育】	【歴史・社会・文化】	【文学】
	発表者：岩政伸治（白百合女子大学教授） テーマ：エコクリティシズムの理論を用いた ESD（環境教育）を志向する授業コンテンツの可能性	発表者：平尾桂子（白百合女子大学教授） テーマ：QFT を用いた新たな学びの実践：「日本研究」（Japanese Studies）を例として	発表者：姜文姫（同志社コリア研究センター嘱託研究員） テーマ：日本統治下台湾における生産文学—炭鉱現場の「生産者」と「表現者」をめぐって—
	【日本語学・教育】	【歴史・社会・文化】	【文学】
	発表者：郭獻尹（文藻外語大学日本語学科専案助理教授） テーマ：日本語読解授業の教学イノベーション	発表者：桑澤悟史（南台科技大学应用日本語学科副教授） テーマ：日本語授業と異文化社会に対する理解との関連構築に関する	発表者：清水裕美子（輔仁大学日本語学科助理教授） テーマ：芥川龍之介短編小説の台湾文学への影響—七等生の作風に関する

		る考察：日本の大学とのオンライン交流を通して	考察—
12:10-13:30	昼食（至善楼 16 階）		
【論文発表】 発表 20 分、討論 5 分、交代時間 5 分			
13:30-14:30	会場 A	会場 B	会場 C
	司会：王長龍（文藻外語大学日本語学科助理教授）	司会：安達信裕（文藻外語大学日本語学科助理教授）	司会：段裕行（文藻外語大学日本語学科副教授）
	【日本語学・教育】	【歴史・社会・文化】	【日本語学・教育】
	発表者：黄思瑋（文藻外語大学日本語学科助理教授） テーマ：中日対照研究からみたオノマトペにおける「笑い」に関する表現について—『ドラえもん』（1～44 巻）を例に—	発表者：番匠健一（社会理論・動態研究所専門研究員） テーマ：北海道の動物文学がえがく地平—辺境観光、生存、エコロジー—	発表者：黄金堂（中国文化大学日本語学科副教授） テーマ：生成的人工知能を活用した日本語 AI 教科書の開発戦略
	【日本語学・教育】	【歴史・社会・文化】	【文学】
	発表者：長安静美（国立高雄科技大学应用日本語学科講師） テーマ：分かるようで分からない間の何が分からないのか—翻訳の語彙形成ルートを日本語の読解授業に導入する試み—	発表者：陳由瑋（国立中興大学人文社会科学前瞻研究センター博士ポスト研究員） テーマ：戦前における日台先住民に対する日本語教育の導入及び受容—『北海道用尋常小学読本』と『藩人読本』を中心—	発表者：呉勤文（文藻外語大学日本語学科専案助理教授） テーマ：要約 AI による文学作品のテキスト分析—村上春樹の『街とその不確かな壁』を中心に—
14:30-14:50	ティータイム（至善楼 16 階）		
【論文発表】 発表 20 分、討論 5 分、交代時間 5 分			
14:50-16:20	会場 A	会場 B	会場 C
	司会：張汝秀（文藻外語大学日本語学科助理教授）	司会：方斐麗（文藻外語大学日本語学科助理教授）	司会：陳美瑤（文藻外語大学日本語学科副教授兼副学科長）
	【日本語学・教育】	【歴史・社会・文化】	【文学】
	発表者：陳美玲（東吳大学日本語学科副教授） テーマ：話し言葉における「たり」の談話標識としての可能性	発表者：永井隆之（石川工業高等専門学校准教授） テーマ：現代ポップカルチャーにみる権威主義の傾向	発表者：黄馨儀（中国文化大学日本語学科副教授） テーマ：台日の公共テレビに描かれた戦争と女性像—2010 年代の公視の時代ドラマと NHK の朝ドラ—

			ラを中心に—
	【日本語学・教育】	【日本語学・教育】	【文学】
	発表者：神作晋一（南台科技大学応用日本語学科助理教授） テーマ：接尾語「～だらけ」「～まみれ」の動向2025—スポーツ紙の website から—	発表者：山本佐和子（文藻外語大学日本語学科助理教授） テーマ：ビジネス日本語メールによる問題解決学習導入の試み	発表者：彭妍蓁（嶺東科技大学応用外国語学科助理教授） テーマ：坂口櫛子作品における女性像
	【日本語学・教育】	【日本語学・教育】	
	発表者：小高裕次（文藻外語大学日本語学科助理教授） テーマ：自己防衛の言語表現としての「勝手に思って（い）る」	発表者：占部匡美（銘伝大学応用日本語学科専案講師） テーマ：日本と台湾における学生のキャリア形成意識の相違について	